

## 海外安全対策情報（令和3年7～9月期）

### 1 治安情勢・一般犯罪の傾向

#### (1) NSW州

治安情勢は安定している。NSW州全体の犯罪発生率も、新型コロナウイルスの感染拡大以降、引き続き減少傾向にある。一方、性犯罪事案については、一部地域で増加傾向に転じており、被害防止のため夜間の一人歩きを避けるなど注意が必要である。

顕著な犯罪の増加傾向が認められる地域は以下のとおり。

##### ○シドニー地域

Central Coast：強姦（+29.1%）

Northern Beaches：強姦（+50.4%）

Ryde：強姦（+73.9%）

○ Central West：暴行・傷害（DV関連）（+11.2%）、

暴行・傷害（DV以外）（+22.1%）、

強制わいせつ（+19.0%）

○ Coffs Harbour - Grafton：暴行・傷害（DV関連）（+23.0%）、

強姦（+28.3%）

○ Mid North Coast：強姦（+28.4%）

○ New England and North West：窃盗（乗物盗）（+16.2%）

○ Richmond - Tweed：暴行・傷害（DV関連）（+33.0%）

#### (2) 北部準州

治安情勢は安定しているものの、コロナ規制の緩和に伴い犯罪総数が増加傾向にある。特にDV関連の暴行・傷害事案（前年比+35.5%）、アルコール絡みの暴行・傷害事案（前年比+27.4%）で顕著な増加傾向がみられる。

夜間にバーを訪れたりその周辺を通行する際は、ケンカ等に巻き込まれないよう注意が必要である。

### 2 邦人被害

7月以降シドニー市内で頻発していたロックダウン反対デモは、参加者と警官隊との衝突に発展し、双方に負傷者が出るなどの事態に至っている。今後NSW州におけるコロナ規制の緩和に伴いこの種デモの発生は少なくなると予想されるが、今後の情勢次第では再びデモが過熱するおそれもある。このようなデモを認知すれば、速やかにその場を離れる等の注意が必要である。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

近年において、シドニーでのテロの発生はないが、9月10日、NSW州在住の右翼過激派の男が銃製造を企図していたとして警察のテロ対策チー

ムに逮捕されており、当地におけるテロの潜在的脅威は存在している。また、昨年12月には、QLD州でIS（イスラム国）の影響を受けた男が隣人2名を殺害するテロ事件が発生しており、特に人の集まる場所におけるテロの可能性について警戒を要する。

#### **4 誘拐・脅迫事件発生状況**

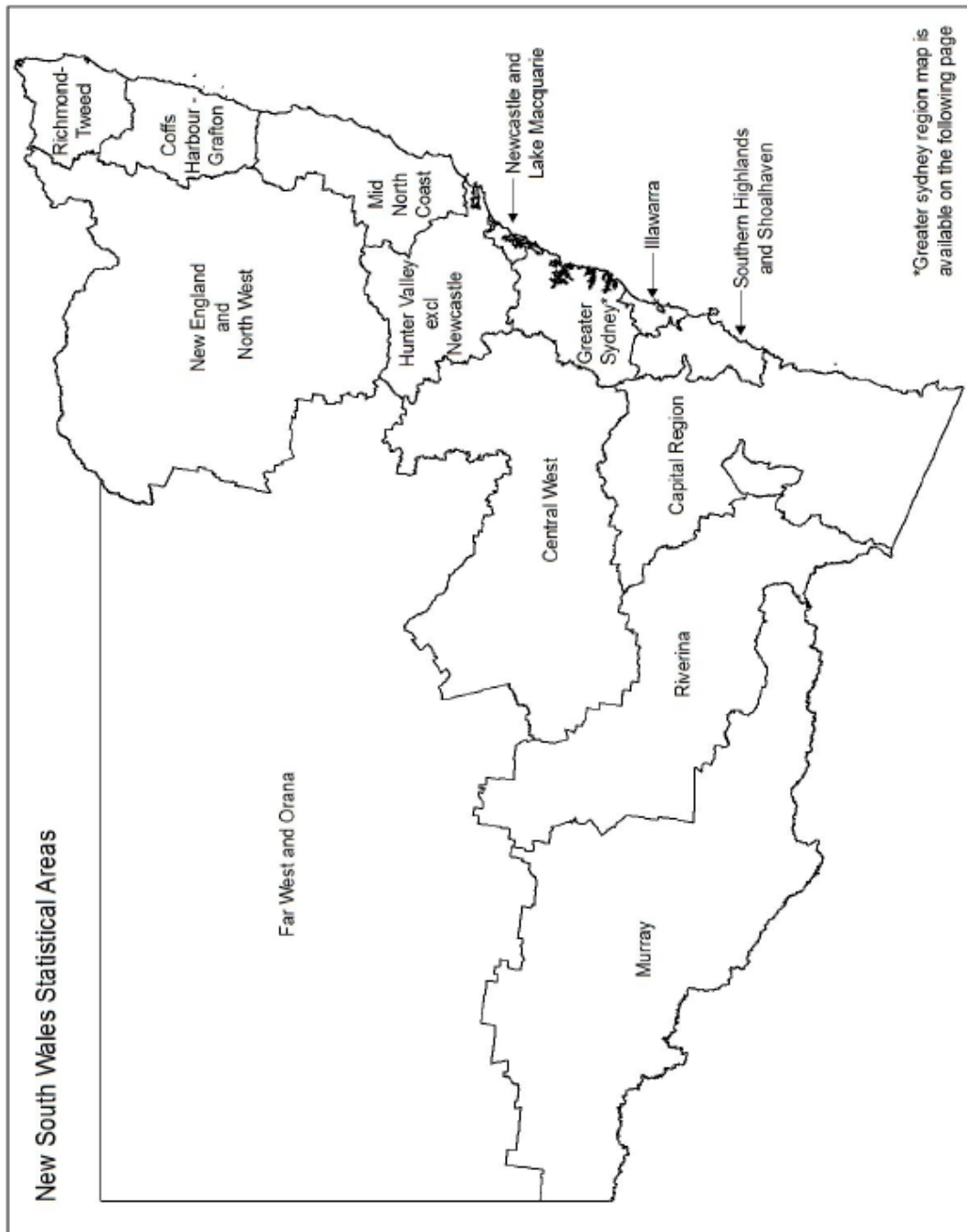
特段注意を要する事件・情報は認知していない。

#### **5 日本企業の安全に関わる諸問題**

昨年中は特段の動向は見られなかったものの、一昨年中、シドニー市内において、我が国に対する抗議デモが2件（慰安婦問題、反イルカ漁）行われており、これら団体の動向等について引き続き注意を要する。

※統計は、NSW州犯罪統計局及び北部準州警察の公表に基づく（統計期間：2020年7月から2021年6月までの1年間（北部準州は2020年8月から2021年7月までの1年間）と前年同期との増減率）。

**APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS**



**APPENDIX 4: NSW & GREATER SYDNEY STATISTICAL AREA MAPS**

